

書牘卷之一（一 往信）

年賀状

新年之嘉儀、目出度

申納候、先以、貴家益

御機嫌克、御越年大

慶爾に存候、次ニ手前方

にも打揃、重歳爾いた

し候間、御省慮下さ

るへく候、先は年始者之

御祝詞迄、かくの如くに

御座候、余は永日餘者を期し

候、恐惶謹言、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。

書牘卷之一（一 返信）

改年之御帖、目出たく

拝見いたし候、御揃弥

御安全御加年成され

候由、萬万々御歡申候、当

方爾にても一同無事越

年いたし候間、相変ら

す御懇意之程、相願

候、何れ参上御祝詞申

述へく候へとも、御報迄

斯爾の如くに候、恐惶

謹言、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。